

取扱説明書 IM 01E22A02-01JA (2版)の該当項目番号について下記の内容に変更してご使用ください。  
機器のレビジョン（メインソフトレブおよび表示ソフトレブ）の確認方法につきましては、58 ページの「4.10.2 機器のレビジョン」をご参照ください。

変更ページと項目		変更内容										
4.2.2 (25ページ)	積算値の表示, 積算カウンタ機能	<p>*メインソフトレブがR1.01.08以降、かつ表示ソフトレブがR2.01.02以降の場合； 下記の内容を追記してください。</p> <p>~~~~~</p> <p>【注記】 表示器の測定画面に積算値を表示させた場合、積算値が表示桁の最大値である±99999999を超えると、表示値がゼロに戻ります。また、A30-A35の値も、表示器と同様に、表示桁の限界を超えるとゼロに戻ります。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>パラメータ</th> <th>表示桁の限界</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A30:TOTAL1</td> <td rowspan="3">±999999.0 を超えると値がゼロに戻る</td> </tr> <tr> <td>A31:TOTAL2</td> </tr> <tr> <td>A32:TOTAL3</td> </tr> <tr> <td>A33:TOTAL1 CNT</td> <td rowspan="3">±99999999 を超えると値がゼロに戻る</td> </tr> <tr> <td>A34:TOTAL2 CNT</td> </tr> <tr> <td>A35:TOTAL3 CNT</td> </tr> </tbody> </table> <p>~~~~~</p>	パラメータ	表示桁の限界	A30:TOTAL1	±999999.0 を超えると値がゼロに戻る	A31:TOTAL2	A32:TOTAL3	A33:TOTAL1 CNT	±99999999 を超えると値がゼロに戻る	A34:TOTAL2 CNT	A35:TOTAL3 CNT
パラメータ	表示桁の限界											
A30:TOTAL1	±999999.0 を超えると値がゼロに戻る											
A31:TOTAL2												
A32:TOTAL3												
A33:TOTAL1 CNT	±99999999 を超えると値がゼロに戻る											
A34:TOTAL2 CNT												
A35:TOTAL3 CNT												
4.2.3 (25ページ)	積算スイッチ機能	<p>*メインソフトレブがR1.01.08以降の場合； 下記の内容を追記してください。</p> <p>~~~~~</p> <p>積算値（パラメータおよび表示器）が目標値（閾値）を超えている間は、ステータス出力がアクティブになります。その状態で、もし積算値が表示桁の限界を超えてゼロに戻ったとしても、何もしなければステータス出力はアクティブのままです。</p> <p>~~~~~</p>										
4.7.4 (40ページ)	電源周波数同期の 設定	<p>*表示ソフトレブがR2.01.02以降の場合； 電源周波数同期の選択肢の表の名称を以下のように変更してください。</p> <p>~~~~~</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>オフ/No</td> <td>いいえ/No</td> </tr> <tr> <td>オン/Yes</td> <td>はい/Yes</td> </tr> </tbody> </table> <p>~~~~~</p>	変更前	変更後	オフ/No	いいえ/No	オン/Yes	はい/Yes				
変更前	変更後											
オフ/No	いいえ/No											
オン/Yes	はい/Yes											

変更ページと項目	変更内容														
<p>4.9.2. (52ページ)</p> <p>表示項目の設定</p>	<p>* メインソフトレブがR1.01.07以前の場合 ; 下記の内容を追記してください。 ~~~~~ 表示器に表示する各積算器の積算値の上下限は、それぞれ的小数点位置の設定に応じた表示可能な桁数で制限されます。例えば、積算器3の小数点位置を小数点2に設定した場合、積算器3の積算値の上限値または下限値は、+999999.99または-999999.99になります。小数点位置の設定は、4.9.3項を参照してください。積算値がこの上下限を超えると、表示器の表示は上限値または下限値で固定されます。 ~~~~~ * メインソフトレブがR1.01.08以降、かつ表示ソフトレブがR2.01.02以降の場合 ; 下記の内容を追記してください。 ~~~~~ 表示器に表示する各積算器の積算値の上下限は、それぞれ的小数点位置の設定に応じた表示可能な桁数で制限されます。例えば、積算器3の小数点位置を小数点2に設定した場合、積算器3の積算値の上限値または下限値は、+999999.99または-999999.99となりますが、積算値がその上下限を超えると、0にリセットされます。小数点位置の設定は、4.9.3項を参照してください。0にリセットされると、表示可能な桁数が異なるため、4.2.2項の積算値とは値が異なる可能性があります。積算をやり直す場合は、積算値のリセット/プリセット機能を使用してください。 ~~~~~</p>														
<p>4.13.1 (66ページ)</p> <p>パラメータの保存 (バックアップ)</p>	<p>* 表示ソフトレブがR2.01.02以降の場合 ; バックアップ機能の選択肢の表の名称の一部を以下のように変更してください。 ~~~~~</p> <table border="1" data-bbox="619 1106 1350 1272"> <thead> <tr> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>EED 1からSDへストア</td> <td>保存領域 1からSDへストア</td> </tr> <tr> <td>EED 2からSDへストア</td> <td>保存領域 2からSDへストア</td> </tr> <tr> <td>EED 3からSDへストア</td> <td>保存領域 3からSDへストア</td> </tr> </tbody> </table> <p>~~~~~</p>	変更前	変更後	EED 1からSDへストア	保存領域 1からSDへストア	EED 2からSDへストア	保存領域 2からSDへストア	EED 3からSDへストア	保存領域 3からSDへストア						
変更前	変更後														
EED 1からSDへストア	保存領域 1からSDへストア														
EED 2からSDへストア	保存領域 2からSDへストア														
EED 3からSDへストア	保存領域 3からSDへストア														
<p>4.13.2 (68ページ)</p> <p>パラメータの復元 (リストア) / 複製</p>	<p>「重要」の中に以下の内容を追記してください。 ~~~~~ ・リストアを実施すると、パラメータが書き換わりますので、必ずラインアウトした状態またはラインが停止している状態で実施してください。 ・リストア実施後は、対象のパラメータが書き換わっていることを確認してください。 ~~~~~ * 表示ソフトレブがR2.01.02以降の場合 ; リストア機能の選択肢の表の名称の一部を以下のように変更してください。 ~~~~~</p> <table border="1" data-bbox="667 1641 1305 1928"> <thead> <tr> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>複製SD</td> <td>SDデータを複製</td> </tr> <tr> <td>保存 1に戻す</td> <td>データ 1を復元</td> </tr> <tr> <td>保存 2に戻す</td> <td>データ 2を復元</td> </tr> <tr> <td>保存 3に戻す</td> <td>データ 3を復元</td> </tr> <tr> <td>SDデータに戻す</td> <td>SDデータを復元</td> </tr> <tr> <td>SDデータ強制複製</td> <td>SDデータを強制複製</td> </tr> </tbody> </table> <p>~~~~~</p>	変更前	変更後	複製SD	SDデータを複製	保存 1に戻す	データ 1を復元	保存 2に戻す	データ 2を復元	保存 3に戻す	データ 3を復元	SDデータに戻す	SDデータを復元	SDデータ強制複製	SDデータを強制複製
変更前	変更後														
複製SD	SDデータを複製														
保存 1に戻す	データ 1を復元														
保存 2に戻す	データ 2を復元														
保存 3に戻す	データ 3を復元														
SDデータに戻す	SDデータを復元														
SDデータ強制複製	SDデータを強制複製														

変更ページと項目		変更内容												
5.1(1) (81ページ)	表示項目 (A:DISPLAY)	<p>表のNo.1-7 A33: TOTAL1 CNT、1-8 A34: TOTAL2 CNT、1-9 A35: TOTAL3 CNTの表示器の値の範囲を下記のように変更してください。</p> <p>~~~~~</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>-999999 ~ +999999 小数点以下の 桁数 : 0</td> <td>-99999999 ~ +99999999 小数点以下の 桁数 : 0</td> </tr> </tbody> </table> <p>~~~~~</p>	変更前	変更後	-999999 ~ +999999 小数点以下の 桁数 : 0	-99999999 ~ +99999999 小数点以下の 桁数 : 0								
変更前	変更後													
-999999 ~ +999999 小数点以下の 桁数 : 0	-99999999 ~ +99999999 小数点以下の 桁数 : 0													
5.1(4) (86ページ)	積算設定項目 (D:TOTAL SET)	<p>表のNo.4-3 D12: TOT1 LOWCUTの初期値に注釈マークを追加してください。 (ご注文時指定事項, または組み合わせる検出器の情報によって決定する値であることを示します。)</p> <p>~~~~~</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0.00000</td> <td>0.00000(*)</td> </tr> </tbody> </table> <p>~~~~~</p>	変更前	変更後	0.00000	0.00000(*)								
変更前	変更後													
0.00000	0.00000(*)													
5.1(5) (88ページ)	パルス出力設定項目 (E:PULSE OUT)	<p>表のNo.5-6 E15: P1 LOWCUTの初期値に注釈マークを追加してください。 (ご注文時指定事項, または組み合わせる検出器の情報によって決定する値であることを示します。)</p> <p>~~~~~</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0.0</td> <td>0.0(*)</td> </tr> </tbody> </table> <p>~~~~~</p>	変更前	変更後	0.0	0.0(*)								
変更前	変更後													
0.0	0.0(*)													
5.1(8) (95ページ)	補助機能設定項目 (H:AUX CALC)	<p>*表示ソフトレブがR2.01.02以降の場合 ; 表のNo.8-6 H20:POWER SYNCHのBRAIN通信のデータ範囲を以下のように変更してください。</p> <p>~~~~~</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Off On</td> <td>No Yes</td> </tr> </tbody> </table> <p>~~~~~</p> <p>表のNo.8-6 H20:POWER SYNCHの表示器のデータ範囲を以下のように変更してください。</p> <p>~~~~~</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>オフ オン</td> <td>いいえ はい</td> </tr> </tbody> </table> <p>~~~~~</p> <p>表のNo.8-6 H20:POWER SYNCHの初期値を以下のように変更してください。</p> <p>~~~~~</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Off/オフ</td> <td>Yes/はい</td> </tr> </tbody> </table> <p>~~~~~</p>	変更前	変更後	Off On	No Yes	変更前	変更後	オフ オン	いいえ はい	変更前	変更後	Off/オフ	Yes/はい
変更前	変更後													
Off On	No Yes													
変更前	変更後													
オフ オン	いいえ はい													
変更前	変更後													
Off/オフ	Yes/はい													

変更ページと項目		変更内容																										
5.1(10) (105ページ)	表示器の設定項目 (J:DISPLAY SET)	<p>*メインソフトレブがR1.01.08以降の場合； 表のNo.10-18 J29:DISP SCROLLの初期値を変更してください。</p> <p>~~~~~</p> <table border="1"> <tr> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> <tr> <td>Manual/マニュアル</td> <td>Off/オフ</td> </tr> </table> <p>~~~~~</p>	変更前	変更後	Manual/マニュアル	Off/オフ																						
変更前	変更後																											
Manual/マニュアル	Off/オフ																											
5.1(14) (113ページ)	バックアップ/リストア/ データログ設定項目 (N:EVENT MANAGE)	<p>*表示ソフトレブがR2.01.02以降の場合； 表のNo.14-10 N19:BACKUP EXECの表示器のデータ範囲の一部を以下のように変更してください。</p> <p>~~~~~</p> <table border="1"> <tr> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> <tr> <td>EEP 1 から SD ヘストア</td> <td>保存領域 1 から SD ヘストア</td> </tr> <tr> <td>EEP 2 から SD ヘストア</td> <td>保存領域 2 から SD ヘストア</td> </tr> <tr> <td>EEP 3 から SD ヘストア</td> <td>保存領域 3 から SD ヘストア</td> </tr> </table> <p>~~~~~</p> <p>表のNo.14-11 N20:RESTORE EXECの表示器のデータ範囲の一部を以下のように変更してください。</p> <p>~~~~~</p> <table border="1"> <tr> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> <tr> <td>複製 SD</td> <td>SD データを複製</td> </tr> <tr> <td>保存 1 に戻す</td> <td>データ 1 を復元</td> </tr> <tr> <td>保存 2 に戻す</td> <td>データ 2 を復元</td> </tr> <tr> <td>保存 3 に戻す</td> <td>データ 3 を復元</td> </tr> <tr> <td>SD データに戻す</td> <td>SD データを復元</td> </tr> <tr> <td>SD データ強制複製</td> <td>SD データを強制複製</td> </tr> </table> <p>~~~~~</p> <p>表のNo.14-12 N21:RESTORE RSLTの表示器のパラメータ名を以下のように変更してください。</p> <p>~~~~~</p> <table border="1"> <tr> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> <tr> <td>複製結果</td> <td>リストア結果</td> </tr> </table> <p>~~~~~</p>	変更前	変更後	EEP 1 から SD ヘストア	保存領域 1 から SD ヘストア	EEP 2 から SD ヘストア	保存領域 2 から SD ヘストア	EEP 3 から SD ヘストア	保存領域 3 から SD ヘストア	変更前	変更後	複製 SD	SD データを複製	保存 1 に戻す	データ 1 を復元	保存 2 に戻す	データ 2 を復元	保存 3 に戻す	データ 3 を復元	SD データに戻す	SD データを復元	SD データ強制複製	SD データを強制複製	変更前	変更後	複製結果	リストア結果
変更前	変更後																											
EEP 1 から SD ヘストア	保存領域 1 から SD ヘストア																											
EEP 2 から SD ヘストア	保存領域 2 から SD ヘストア																											
EEP 3 から SD ヘストア	保存領域 3 から SD ヘストア																											
変更前	変更後																											
複製 SD	SD データを複製																											
保存 1 に戻す	データ 1 を復元																											
保存 2 に戻す	データ 2 を復元																											
保存 3 に戻す	データ 3 を復元																											
SD データに戻す	SD データを復元																											
SD データ強制複製	SD データを強制複製																											
変更前	変更後																											
複製結果	リストア結果																											
5.2 (118ページ)	表示器の メニューツリー	<p>*表示ソフトレブがR2.01.02以降の場合； Param bkup/restoreの日本語メニュー及びパラメータ名を以下のように変更してください。</p> <p>~~~~~</p> <table border="1"> <tr> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> <tr> <td>バックアップ/復元</td> <td>バックアップ/リストア</td> </tr> <tr> <td>複製結果</td> <td>リストア結果</td> </tr> </table> <p>~~~~~</p>	変更前	変更後	バックアップ/復元	バックアップ/リストア	複製結果	リストア結果																				
変更前	変更後																											
バックアップ/復元	バックアップ/リストア																											
複製結果	リストア結果																											
5.2 (120ページ)	表示器の メニューツリー	<p>*表示ソフトレブがR2.01.02以降の場合 Power syncの日本語パラメータ名を以下のように変更してください。</p> <p>~~~~~</p> <table border="1"> <tr> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> <tr> <td>Power sync on/off</td> <td>Power sync</td> </tr> </table> <p>~~~~~</p>	変更前	変更後	Power sync on/off	Power sync																						
変更前	変更後																											
Power sync on/off	Power sync																											